

課題を抱える子どもの支援～公設民営のスクールの取り組み～

NPO法人トイボックス代表理事

スマイルファクトリー・スマイルファクトリーハイスクール校長

白井智子

スクールの紹介

スマイルファクトリーは、2003年池田市教育委員会からNPO法人トイボックスへの委託という形で、池田市立山の家にて不登校生徒児童のスクーリングおよび相談事業を開始しました。あらゆる子どものいいところを見つけ伸ばす方針のもと、子どもの居場所作りを一貫して行っています。

不登校生の中に発達障がい・精神疾患を持つ児童生徒が多く含まれたことから、現在ではその対応も含め実施しています。また、利用者の要望により、2007年には高校卒業資格がとれるハイスクールも併設しました。

五月山の自然が豊かで静かな環境の中にある池田市立山の家という公共施設の有効活用も兼ねており、全国でも珍しい、公教育と連携した公設民営の不登校サポート施設となっています。

対象者と費用、単位取得について

小中学生は、在籍校の校長裁量によりここでの出席が指導要録上の出席扱いとなります。池田市内の小中学生はスクール・相談共に一切無料。市外の方は月額18000円、定員(約30人。マンツーマン対応が必要な子どもがその時点で何人居るか、という基準で判断。)オーバーの場合、ウェイティングの可能性あり。

高校生は、通信制の星槎国際高校との提携により、当スクールに3年間通うことで高校卒業資格を取得可能。年間費用約60万円。

スクールおよびカリキュラムの特色

Ⅰ 不登校の二大原因を学力とコミュニケーション能力ととらえ、個別の学習支援とコミュニケーション能力育成のための体験学習をカリキュラムの柱にしています。

Ⅱ 多彩なスタッフ(障がい者施設の元職員、元保育士、航空機の元整備士、高校の非常勤講師、大学院生、臨床心理士、アーティスト等)のチームワークで子どもをサポート

Ⅲ 個人で学習できる部屋をつくったり、攻撃性のある生徒は最初は個別に対応したりと、どんな生徒でも無理なく徐々に適応できるような

体制づくり

Ⅳ 小学生から高校生まで学年の垣根を無くすことによりさまざまな年齢層の子ども同士でコミュニケーションをとる機会をつくっています

Ⅴ 学校復帰したい、或いは一定期間山の家に通いたいなど、様々な目標に対応

Ⅵ 通常の個別学習やレポート指導の中で日常的に進路指導・受験指導を実施

相談機関としての特色

Ⅰ 民間機関の柔軟性を活かし、緊急時は24時間対応

Ⅱ 人事異動がないため、顔が見える相談体制
Ⅲ 家族ぐるみでサポート。家庭訪問、一緒に外出など、あらゆる方法を活用して外へ出るためのきっかけづくり。

2009年度相談・スクーリングのべ件数8136件

修了後の進路

中学校卒業後は主に通信制・定時制高校や技能連携校へ。高校卒業後は大学・専門学校・就職などが主たる進路です。一人一人の子どもの適性に合った進路指導に徹した結果、子どもの数あたりの進学率も比較的高くなっています。

水～土曜日に行っているスクールのうち、土曜日には学校復帰した子ども達も参加したり、放課後には沢山のOB・OGが遊びに来たりすることが穏やかな刺激となり、子ども達が自身自身の進路を考えるきっかけになっています。

今後の課題

Ⅰ 経営基盤の安定、確立。

Ⅱ 公教育との連携を活かし、特別支援のノウハウを蓄積、情報交流

参考文献/石本智一(2009.11)笑顔で一步前に～スマイルファクトリーの取り組み～「月刊生徒指導」学事出版/白井智子(2010.12)公共と民間の力を合わせた新しい教育「松下政経塾講義ベストセレクション 地方自治編」国政情報センター

「私たちトイボックスは、NPOと企業の長所をあわせ持つ社会的企業です。」

NPO法人トイボックスは、子どもと子どもたちの持つ素晴らしい可能性を育み、地域の活性化を行っていくことを目的としたNPOです。

現在、教育・福祉・エンターテインメント・地域の活性化・文化振興という幅広い分野で年間事業費3億円ほどの活発な活動を行っています。

トイボックスの社会貢献活動を支える背景には、従来のボランティア型NPOには見られない**社会的企業型NPO**としての経営理念があります。

NPOは、無償でサービスを提供する団体だとの誤解を受けがちですが、私たちは、社会貢献事業を推進するにあたり、サービスの対価として適正な報酬が存在するのは当然のことだと考えています。なぜなら、社会的事業を推進する団体に一番必要なのは、経営能力であると実感しているからです。

社会貢献事業を行う団体の一番の責務は、一度始めたサービスを継続し続けることです。もし、われわれが運営する子どもたちのためのスクールや公共施設が、法人本体の経営不振が原因で閉鎖や利用中止となったら、子どもたちにとって唯一の教育の機会や利用者の方々の大切な居場所を奪うことになる。そういった事態を招かないためにも、私たちは「健全な経営と適切な収入の確保」を「社会貢献活動を継続するための手段」として重要と考えています。

収益を上げることが存在目的の民間企業とは異なる、社会貢献が存在目的の団体。だからこそ手段としての経営や収益を軽視しない団体。トイボックスは、NPOと企業の長所をあわせ持つ社会的企業として、安定した経営能力、さまざまな現場のノウハウや幅広いネットワーク、事務局機能を備え、その能力を公共の福祉の向上に役立てることを法人の使命として活動しています。

こうした形態の法人がもっと活動しやすくなるには、財源確保のための寄付税制の在り方(現行制度では事業型NPOは認定NPO法人の申請がほぼ不可能に近い)や、法人税・消費税に関しても制度の整備が必要だと考えています。

「3つの人材育成型セクションと地域密着型セクションが連携し活動しています」

NPO法人トイボックスには、専門的領域をもつ3つの人材育成（インキュベーション）セクションと、地域と密着して総合的な活動を行う地域密着型（フィールドワーク）セクションがあり、それぞれが連携して多様な活動を行っています。

【人材育成セクション】専門的なノウハウを持つティーチングスタッフを中心に、青少年育成や障がい者支援などの活動をしています。

- ・スマイルファクトリー（子どもと家族が笑顔になるための教育支援活動）



現在の学校になじめない子どもたち、発達障がい、学習障がいなどをもつ子どもたちとその家族を支援するために、単位取得型フリースクールの運営、技能連携校制度を活用したハイスクールの運営・教育相談活動などを行っています。

- ・ラブジャンクス（ダウン症児者によるダンスエンターテイメントチームの運営）



世界でも珍しいダウン症児者のヒップホップチーム。全国で500名以上が参加し、レッスン、トップアーティストと合同でのコンサート開催、イベント出演などの活動を行っています。

- ・リアルレーシング（モータースポーツをはじめとするスポーツを通じての社会貢献）
モータースポーツを通じての家族の絆づくり、環境意識の啓発などの活動を展開しています。

【地域密着型セクション】公共施設の指定管理を軸に、地域での活動を展開しています。現在、大阪府下4自治体の5施設を管理運営しています。

指定管理施設・・・池田市立山の家/東大阪市立文化会館/柏原市立市民文化会館/門真市立市民文化会館/門真市立市民交流会館